

一般財団法人品川ビジネスクラブ 令和3年度（第11期）事業計画 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

◆ 活動方針

品川ビジネスクラブは、公的産業支援機関として多様な事業展開を行いながら、品川区と連携して創業支援や区内中小企業の支援等に努めてきた。それらの事業の中でも、「ビジネス創造コンテスト」は、品川発、ビジネスクラブ発の新規事業の創出を目指して開催してきており、全国各地から新規ビジネスのアイデアが幅広く寄せられている。

令和3年度においても、ものづくり企業の支援とともに、「ビジネス創造コンテスト」およびコンテストと連動したハンズオン支援を通じて、ビジネスアイデアの事業化、ものづくり企業の新展開・成長を促進する。加えて、スタートアップを中心として、ビジネスアイデアの事業化に必要な資金調達支援を強化していく。

これらの施策の展開に当たっては、品川区および産業関連団体等との連携を一層強化し、指定管理者として品川産業支援交流施設（SHIP）における各種事業の効果を更に高めつつ、地域産業振興の中核機関としての機能の充実を目指す。

なお、上記の活動を進めるにあたっては、新型コロナウイルスの「感染拡大防止」と「経済活動の回復・拡大」の両立を目指す政府・自治体の方針を踏まえ、ビデオ会議システムを有効活用しながら、対面型と同様の事業内容・効果が確保できるように努めていく。

◆ 実施事業

I. 品川ビジネスクラブが実施する自主事業

1. 新規ビジネス創造事業

ビジネス創造コンテストおよびコンテスト関連事業を通じて、成長が期待される企業・人材の発掘・育成、ハンズオン支援によるビジネスアイデアの事業化（起業）およびものづくり企業等の新展開を促進し、品川ビジネスクラブ発となる新規ビジネスの創造を目指す。

(1) ビジネス創造コンテスト（品川区共催事業）

事業目的：成長が期待される企業・人材（ビジネスアイデア）の発掘

目標設定：応募件数（一般枠300件 区民枠100件）

品川発、ビジネスクラブ発となる新規ビジネス創出を目指すとともに、そのシーズとなる将来性が見込めるアイデア（組織・人材）の発掘を目指す。

「一般枠」については、幅広い視点から様々な社会課題を解決するための研究・開発アイデアを区内外から募集し、協賛企業の協力も得ながら優れた提案には賞状および賞金等を贈呈する。中でも、新規性、実現性、市場性が極めて高いアイデアについては、これまでのファイナリストやアドバイザーとの交流、国内外のインキュベーター・投資家等にビジネスアイデアを提案できる機会等を設ける。また、ビデオ会議も活用しながら海外プレゼンター等によるグローバルな展開も支援

する。さらに、ビジネスクラブのハンズオン支援プログラムの一部として、区内の協力機関（商連など）と連携しながら、当該団体のフィールドを活用したアイデアの社会実装の場を一定期間提供するほか、関係機関とのマッチングや資金調達など、アイデアに応じた個別支援を行う。

「区民枠」については、区内の小学生を対象に「未来にあったら品川がもっとよくなるものって何だろう?」、中学生・高校生を対象に「未来の品川に必要なと思うビジネスアイデア」をテーマとした募集をそれぞれ行い、優秀なアイデアに対して賞状および副賞等を贈呈する。コンテストを通じて、児童・生徒・学生が自分たちの生活や暮らし方を振り返り、地域社会の在り方または自分の未来等を主体的に考える機会を提供する。さらに、各学校をはじめとして区内教育機関との連携も強化し、コンテストを軸に、地域に根付いた起業家の育成を目指す。

	アイデア募集	書類審査	面接審査	最終審査 & 表彰式	インキュベーター・投資家等への提案機会	ハンズオン事業化支援
一般枠	10月1日～	12月	1月中旬	2月上旬	3月中旬	4月以降
区民枠	11月30日		-	※区民枠は表彰式のみ	-	-

(2) 資金調達支援

事業目的：ビジネスアイデアの事業化に向けた資金調達、PR およびマーケティング機会の提供

目標設定：クラウドファンディング個別相談会の開催（6回）

ベンチャーキャピタル等との連携による資金調達ミートアップ（3回）

ビジネス創造コンテストから輩出されたアイデアや、クラブ会員その他の区内事業者が有する製品・技術等を対象として、資金面を中心とした事業化支援およびPR・マーケティング機会の提供を図る。

また、クラウドファンディングのサイト運営事業を展開する CAMPFIRE 等と連携して、アイデアのブラッシュアップやPR、資金調達支援等を促進する。

さらに、資金調達の手段が多様化している現状を踏まえ、個々のニーズやそれぞれの調達手段の特性、選択にあたっての判断のポイントなど、専門家を活用したスタートアップ向けの資金調達支援を行うこととし、ベンチャーキャピタルや金融機関、専門家等の協力を得て、資金調達に関するオンラインによるミートアップを定期的に開催する。

(3) ソーシャルビジネス等ハンズオン支援

ビジネス創造コンテストから輩出されたソーシャルビジネス等のアイデアや、会員、または新事業開発・新市場開発・生産性向上など意欲ある事業展開を考えている企業を対象として、事業化に向けたハンズオン支援を行う。

①支援チームによるハンズオン支援

事業目的：ソーシャルビジネス等の事業化促進

目標設定：支援件数（4件）

品川ビジネスクラブが有するネットワークを活用した専門人材（アドバイザーネットワークスのメンバーなど）による支援チームを編成し、コーディネートを行いながら、実現に向けた取組を支援する。

ソーシャルビジネス社会実装賞（SHIP）を受賞した企業に対しては、SHIP ラウンジ会員とも連携を図りながら、ハンズオン支援を実施していく。

【支援内容】

- ・専門人材による支援チームの編成とコーディネート
- ・経営戦略、資金調達、製品・技術開発、マーケティング、市場開拓などの支援
- ・アイデアのブラッシュアップ
 - 試行～検証体制の整備（品川区、SHIP、商店街、教育機関、製造業等との協力体制）
- ・事業化に向けたマーケティングおよびクラウドファンディング等を活用した資金調達支援
- ・SHIP での実証実験の機会提供およびコーディネート

②研究会によるハンズオン支援

事業目的：ソーシャルビジネス等の事業化促進

目標設定：支援件数（2件）

案件に応じて登録自主研究会あるいは認定研究会制度の活用を提案しつつ、研究会制度を通じた事業化支援を行う。

【研究会支援内容】

登録自主研究会に対しては下記 1)～3)まで、認定研究会に対しては 1)～4)の支援を行う。

- 1) 会議室の無料使用
- 2) ゲスト講師料の助成
- 3) 各種経費補助
- 4) コーディネーターの配置

(4)シビックテックアイデアソン

事業目的：アイデアソンの実施による社会課題に関する意識やイノベーション力の向上

目標設定：開催回数（1回）

区内在住・在勤・在学の個人や企業から参加を募り、「身近な地域・社会課題を ICT 技術で解決する」を基本テーマとした「シビックテックアイデアソン」を開催する。多様なメンバーによるディスカッションを経て、自分たちの身の回りの地域・社会課題解決に向けたアイデア出しとその実施方法

の具体化を進めるとともに、参加メンバー同士の交流促進を図る。

参加者には、このイベントを契機として、ビジネス創造コンテストへの応募呼びかけや、実装化の支援等も図る。

(注) アイデアソン：「アイデア」(Idea) と「マラソン」(Marathon) を掛け合わせた造語。ある特定のテーマについて多様性のあるメンバーが集まり、対話を通じて、新たなアイデア創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築などを短期間で行うイベントのこと。

2. 新展開・成長促進事業

ものづくり企業をはじめとする品川ビジネスクラブ会員企業を中心に、新展開・成長に向けたきっかけおよびヒントの提供を行う。

(1) ものづくり表彰

事業目的：区内のものづくり企業等の事業意欲向上および従業員の士気向上

目標設定：表彰企業の選定件数（6件）

製品・技術開発や、改良、事業モデル開発等で地道な成果を上げている区内の小規模ものづくり企業等の事業意欲の向上および従業員の士気向上を図るとともに、これらの企業の活動内容について広く PR を行う。

表彰に当たっては、東京商工会議所品川支部、品川産業協会、東京都中小企業家同友会品川支部からの推薦をもとに、企業調査を行った上で、審査会を開催して対象企業を決定する（各産業団体より2件推薦）。

表彰企業に対しては、品川ビジネスクラブの web サイト、Facebook、メルマガ、品川区のメルマガ、SHIP での資料配布、プレスリリースによる情報発信を実施し、表彰式は交流会と同時開催する。

表彰式と併せて交流会の実施も予定しているが、新型コロナウイルスの流行長期化も懸念されることから、令和3年度は、状況に応じてビデオ会議によるイベント開催も検討することとし、第1回および第2回の表彰者を対象としたフォローアップのための意見交流会等も実施していく。

(2) アドバイザーネットワークス

事業目的：Meetup または個別メンタリングを通じた会員企業の事業のブラッシュアップおよび成長促進

目標設定：開催回数（毎月1～2回）

品川ビジネスクラブのこれまでの人的・組織的ネットワークを有効活用し、実務経験豊かなアドバイザーによる個別メンタリングを会員企業向けに提供する。令和2年度まで実施してきた「ビジネス創出懇談会」を本事業に統合し、四半期に一度、複数のアドバイザーを招聘した Meetup もメンタリングと同時に開催する。

さらに、クラブの活動周知と会員加入も視野に入れつつ、区内の中小企業者等（非会員）向けの無料メンタリング（相談会）を定期的実施していく。

3. ネットワーキング推進事業

会員に対して多彩な企業・人材とのマッチングの機会を提供するとともに、そうした機会を継続的・発展的に提供できるよう、他の企業・機関等との幅広い交流・連携を進める。

(1) ビジネスマッチング

事業目的：会員とコンテスト参加者、ものづくり表彰受賞者等との交流・マッチング

目標設定：交流・連携機会の提供（12件）

交流イベントを通じて、会員とビジネス創造コンテスト参加者、ものづくり表彰受賞者等との交流・連携、マッチング機会の提供を図る。

オンラインによる開催も含め、ものづくり表彰と交流会の同時開催、ビジネス創造コンテスト表彰と交流会の同時開催などにより、区内中小企業や、様々な技術・ビジネスアイデアを有する事業者・人材と、クラブ会員との交流・連携を図るとともに、マッチングニーズの把握とその機会を提供する。

また、(3)に記載している「広域連携・交流促進事業」（イノベーションハブ事業）を通じ、各地の産業支援機関等とも連携し、幅広いエリアで新たなビジネスマッチングの機会創出を目指す。

(2) ビジネス関連活動支援

事業目的：クラブ事業と関連する研究会や交流会等に対する支援を通じた新たな企業等との連携促進

目標設定：協賛・後援件数（5件）

官公庁、産業団体、産業支援機関、各種学会および企業等から依頼に応じて、クラブ事業と関連する研究会や交流会等に対して協賛・後援を行う。

(3) 広域連携・交流促進事業（イノベーションハブ）

事業目的：多くの人と企業が出会える多様な交流の機会を提供するハブ的な機能を目指す

目標設定：自主イベントおよび他地域との連携イベント開催回数（6回）

各地の産業支援施設（関東、近畿、九州など）や大手企業ネットワーク等と連携して、SHIPまたは他地域を拠点とした交流会やMeetup等の各種イベントを、ビデオ会議システムを利用または対面型のイベントも組み合わせたハイブリッド方式で開催する。

【イベント案】

- ・交流会（他地域のスタートアップや中小・大企業等との交流機会の創出）
- ・ピッチイベント（短時間で自らのアイデアを参加者に売り込むプレゼンテーション）
- ・ワークショップ（他地域の施設とテーマを設定した体験型講習会） など

Ⅱ. 指定管理者関連事業

1. 品川産業支援交流施設（SHIP）指定管理業務

区立施設の指定管理者として、「品川産業支援交流施設」4階の交流施設（オープンラウンジ、オフィススペース、工房、会議室等）の管理運営を行うとともに、利用者と入居者等の交流促進、創業支援の取組を推進する。また、3階のイベントホールについては、共同事業者である株式会社マグネットスタジオと連携して施設の管理運営を行う。

産業支援施策の実施に当たっては、品川区および区内産業団体等との連携を一層緊密なものとし、起業および新ビジネス等の創出支援および区内企業の支援を進めていく。

令和3年度においても新型コロナウイルスの流行長期化が懸念されるが、区立施設として安全・安心の確保を第一として、感染防止対策を徹底し、利用者から信頼される施設運営を行う。

(1) 事業の運営に関すること

① 運営管理

指定管理業務に関する事業計画の作成、事業の実施・調整・管理、イベントの企画・運営等

② 受付、案内および貸室業務

施設利用者の受付および案内ならびに鍵または備品の受け渡しおよび管理等

③ オフィス、オープンラウンジおよび多目的ルームの運営

インキュベーションマネージャー（IM）の配置による起業および創業等の各種相談対応
<主な業務内容>

- 1) ビジネスプランの評価および改善等に関する助言・指導
- 2) 経営および労務等の課題解決に向けた支援
- 3) 産業支援施策および施設活用の紹介・説明
- 4) ラウンジ会員およびオフィス入居者を対象とした交流プログラム等の企画・運営

④ 工房の運営

<主な業務内容>

- 1) デジタル工作機械の操作方法の習得および技術向上の支援
- 2) 区内中小製造業を対象とした技術革新サポート、発注・造形相談および試作品製作の請負
- 3) 人材育成を目的としたセミナー・イベントおよび訪問相談の実施
- 4) 利用者のニーズに即した工房設備の検討・確保

⑤ 3階イベントホールの利用推進

- 1) 区内産業団体（東京商工会議所品川支部、品川産業協会、東京中小企業家同友会品川支部等）を対象とした無料利用枠の設定
- 2) イベントホールの新しい活用（ビデオ会議・WEBセミナー等）の促進

(2) 施設・設備の予約、使用承認および利用料金の徴収に関すること

① オフィス

使用の承認、更新に関する審査業務および利用料金の徴収業務（減額・免除・還付含む）等

② オフィス以外（会議室、オープンラウンジ、工房、多目的ルーム）

施設・設備予約等のシステム構築および運営、ならびに使用の承認および取消しに関する業務等

③ 利用者の利便性向上

キャッシュレス決済（電子マネー、クレジットカード払い）の導入、利用ニーズの高まるビデオ会議等のIT利用環境充実およびレイアウトの見直し等

(3) 産業振興事業に関すること

区および他の区内創業支援施設等との連携により、起業・創業の支援や、新事業展開の契機となる企業間交流機会の提供、産学公連携の促進など、区内中小企業の事業継続および発展を支える産業振興事業を幅広く実施する。

① 創業支援セミナーの開催

起業・創業後間もない区民等を対象として、事業の成長発展のために必要なノウハウを提供するためのセミナーを開催する。

会社設立手続きや事業計画作成などの基本的な講座に加え、セミナー参加者の声を反映して設定したテーマ（法務、特許、労務など）の講座も織り交ぜながら定期的にオンラインで実施していく。

<主な構成内容>

- 1) 会社設立手続講座：会社設立の流れや手続きについて学ぶ講座
- 2) 事業計画作成講座：事業計画を作成したことのない初心者向けの講座
- 3) 資金繰り講座：資金繰りや金融機関からの借入れなど、資金調達のノウハウを学ぶ講座
- 4) 補助金講座：品川区や公的補助金等の情報提供および申請時の注意点を学ぶ講座
- 5) ホームページ作成講座：HP作成ソフトを用いて、HP作成のための基本的な技術を学ぶ講座

② 各種相談会の開催

SHIP 会員および非会員を対象として、インキュベーションマネージャー（IM）が実施する経営相談等に加え、各土業の専門家や金融機関などの協力を得て、企業経営の悩み事に応える相談機会を提供し、課題解決と事業成長を促す。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、合同の相談会にこだわらず、ビデオ会議システムを活用した個別相談会も取り入れながら、継続的な相談体制を確保する。

<主な構成内容>

- 1) 土業合同相談会：個々の相談者の実情に応じて、弁護士や税理士、社労士などの専門家の適切な相談が受けられる機会を提供
- 2) 資金調達相談会：政府系金融機関、メガバンク、信用金庫、クラウドファンディング運営会社等の協力を得て、資金調達や資金繰りの相談機会を提供

③交流イベントの開催

コロナ禍で対面型の交流が困難となっていることから、オンラインの交流イベントにも新たに取り組み、区内の創業支援の中核拠点である SHIP の利用者と、区内 4 創業支援センターの利用者や区内産業団体等との交流会・マッチングの実施など、企業の事業展開に役立つ交流機会を提供する。

④工房を活用した事業

＜主な構成内容＞

1) SHIP 工房活用セミナー (SHIP Creativity Day)

工房に設置しているデジタル工作機械 (3D プリンター等) の操作方法や、3DCAD データの作成方法等について学ぶとともに、これらを事業活動に活用できる人材の育成と能力向上を目的としたセミナーを開催する。

2) ものづくり×IT の活用支援

製造業等の現場において IT を活用した技術革新を支援するため、上記のセミナーのほか、オンライン相談や出前講座などにも取り組み、区内中小企業の試作品の開発、造形に関する相談・コンサルティングなどをサポートする。

3) 工房の利用機会の確保

教育・福祉分野と連携したイベント等を通じて、一般区民の利用機会も確保する。

(4) 施設の維持管理業務に関すること

①新型コロナウイルス対策

感染拡大防止のための基本的対策 (マスク着用や検温など利用ルールの徹底、施設内のソーシャルディスタンスの確保等)

②建物の維持管理

施設の衛生管理の徹底 (こまめな清掃・除菌等)、機械・空調・通信設備の点検および保守等

③消耗品の管理

新型コロナウイルス対策および日々の施設運営に必要な消耗品の購入・管理

④光熱水費の管理

光熱水費の取りまとめ (オフィス利用分を含む)、その支払いに関する業務

⑤修繕の実施

施設・設備等の修繕工事や故障対応

(5) 緊急時の対応に関すること

①緊急時の対応

自然災害や新型コロナウイルス感染発生等の緊急時における利用者および施設の安全確保のための迅速な対応、品川区およびビル管理会社との情報共有・連携強化

②訓練の実施

ビル管理会社との連携による消防訓練、防災訓練等の定期的な実施

(6) 事業計画および事業報告等に関すること

①区に対する事業計画等の作成・提出

事業計画書および収支予算書等の作成・提出

②区に対する事業報告等の作成・提出

月別事業報告書に基づく四半期および年度別事業報告書ならびに収支決算書および利用実績等の統計資料の作成・提出

◆ 法人運営

1. 理事会および定時評議員会等の開催

予算または決算等の承認・報告、その他の重要事項の審議等

2. 事業進行管理会議の開催（区一指定管理者）

施設および産業振興事業等の運営状況に関する会議（毎月）の開催